



信頼と品質を支えるのは積極的な投資と挑戦

デジタル機器や自動車はじめ、あらゆる工業製品に搭載されている電子部品。製品の多機能化や小型化などにもない高精度・高機能化が求められ、部品加工業界では競争が激しさを増している。オンリーワンの技術、製品を作るために必要なことは何か―。株式会社ベストでは、設備投資と新技術への挑戦で実績を伸ばしている。

新しい製品を世に送り出したい 10人の技術者と立ち上げた会社

エレクトロニクス技術は日進月歩で進化している。携帯電話やパソコンなどの情報機器はじめ、自動車部品や腕時計分野などでも機能の複合化が進み、それにもなって搭載される部品も高精度・高機能化、より小型でより複雑な形状への対応が求められる。そんな精密部品プレス加工の分野で市場から信頼を得ているのが、北上市に本社工場を置く株式会社ベストである。

同社の創業は平成10年と比較的新しいが、社長の藤原澄夫さんは技術畑の出身。海外にもその名を知られた大手精密部品メーカーで27年、統括業務のプロフェッショ

ナルとして手腕をふるってきた。だが受注単価の下落などから会社の業績は伸び悩み、また新規事業に取り組む体制もなかったことから起業を決意、10人の技術者を引き連れてベストを立ち上げた。

「大量生産はもう日本では考えられない。同じことをしては、進出してくる中国勢に太刀打ちできない」。迫りつつあった脅威も見ていた藤原社長だけに、独立後間もなく大手メーカー数社から声がかかる。依頼されたのは、当時主流だったミニディスク(MD)や腕時計の部品、携帯電話のモーター部品。プレス加工が難しく、より精密な金型が求められることから取り組む企業の少ない分野である。同社はここに注力し、技術に磨きをかけていった。

金型からプレスまで一貫体制。世界の工作機械が品質を支える

金型プレスによる部品加工は、金型設計にはじまり機械加工で金型を製作し、金型組み立て、プレス加工という工程を経て完成する。受注法は様々だが、同社では3D/CADを使った金型設計から製造、プレス加工と3次元測定器による検査までの一貫生産体制を整えている。生産品目は電子音響機器に光学機器、腕時計用部品や電子通信機器、車載部品、各種デバイス等多岐にわたり、今後も業務内容の多様化は確実だ。

オリジナルの製品も多い。7年前には冷間鍛造プレス加工の高細密六角ナットの開発に世界で初めて成功、デジタル機器の小型化・軽量化に貢献した。「プレスへの転換はコストダウンに繋がるため特に車業界では大きい」。藤原社長のこの言葉通り、技術は今、車載部品の製造に応用されている。

①電機メーカーから転職した技術部品品質保証・設計リーダーの伊藤尚志さん。「ベストで、金型の組立をいちから学びました」。
②金型を製作する機械加工のフロア。自動工作機械のプログラムも、手動工作機械の調整もベテラン技術者陣が担当。
③金型を作る上で最も重要な仕上げ用工作機械が、このNCジググラインダー。
④⑤モニターチェック、完成品チェック。要所要所に技術者の目が光っている。厳正な検査体制をひく品質保証部門。
⑥⑦⑧⑨同社の従業員は約40人。少数精鋭で高品質な製品を送り出している。
⑩⑪⑫上から、世界初の高精度六角ナット、車載部品、光ピックアップ部品。

「新しいことに挑戦し、いい製品を作る」。信念を実現するため、藤原社長が積極的に取り組んできたのが設備導入だ。使用する工作機械はスイスのアジェ社やアメリカのムーア社など、金型機械の世界トップメーカーばかり。価格も日本製の2、3倍はするが、高い精度でのモノづくりができる。「安い機械でも部品は作れるが品質にバラツキが出てしまう。どんな工作機械を使っているかで、金型を作る会社としての『姿勢』も感じてもらっている」と藤原社長。導入には当センターの設備貸与制度を、創業から16回以上利用している。

大企業の業績が伸び悩むなか世界的な精密部品ニーズは増加しており、日本では震災や原発問題を契機に蓄電池などに使われる電気部品の開発が本格化している。「培ってきた技術を生かしながら電気関係などの分野へ進出していく」と、藤原社長は展望を述べる。挑戦は続いていくのだ。

我が社の力こぶはコレ!
工程ノウハウと技術者が発展を支えています
創業以来培ってきた製造工程のノウハウに、金型加工の精度とプレスの精度が当社製品の品質を支える3本柱。高い技術を持った人材がいることも大きな強みです。顧客には一部上場の大企業も多いため、社員教育にも取り組んでいます。



代表取締役 藤原澄夫

会社名 株式会社ベスト
所在地 北上市藤沢3地割179-1
所在地 0197-68-4431
代表者 藤原澄夫
創業 平成10年
従業員 43名
業種 超精密金型、プレス加工

発信! いわての力こぶ

【支援企業紹介】北上市 株式会社ベスト

